

様式第 14 号 (第 41 条関係)

発 電 設 備 計 画 書			
			年 月 日
大 阪 府 知 事 様			
届出者		住 所	印
		氏 名	(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
大阪府温暖化の防止等に関する条例第 33 条第 1 項の規定により、次のとおり届け出ます。			
発電設備の名称			
発電設備の所在地			
発電設備の概要			
エネルギーを利用する効率を高めるために発電設備において講じようとする措置			
環境の保全のために発電設備において講じようとする措置			
環境の保全のために発電設備を設置する敷地において講じようとする措置 (上記の措置を除く。)			
事後調査の方法			
連絡先	部署名		
	電話番号		
	電子メールアドレス		
※整理番号		※受理年月日	年 月 日

備考 1 氏名 (法人にあつては、代表者の氏名) の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

2 ※印のある欄は、記入しないでください。

1 発電設備の概要

発電設備の種類	ガスタービン（コम्バインドサイクル・コージェネレーション） ・ その他（ ）								
発電設備の出力	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">kW ×</td> <td style="text-align: center;">台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">kW ×</td> <td style="text-align: center;">台</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">kW</td> </tr> </table>	kW ×	台	kW ×	台	合計		kW	
kW ×	台								
kW ×	台								
合計									
kW									
燃焼方式	予混合希薄燃焼方式 ・ その他（ ）								
燃料の種類	液化天然ガス ・ 都市ガス ・ その他（ ）								

備考1 発電設備を設置する場所の周辺図及び位置図（発電設備の位置がわかる敷地内の配置図等）を添付すること。

2 発電設備（処理装置を含む。）の概要図を添付すること。

3 複数の種類の設備を設置する場合は、それぞれの設備について記載すること。

2 工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日

工事着手予定年月日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日

3 エネルギーを利用する効率を高めるために発電設備において講じようとする措置

発電電力量当たりのCO ₂ 排出量	g-CO ₂ /kWh
発電効率	%
総合効率	%
燃料の使用量	/年
(講じようとする措置)	

備考1 発電電力量当たりのCO₂排出量の算定に用いた根拠資料を添付すること。

2 発電効率や総合効率は、メーカーの設計値（メーカー保証値、実績値等）を記載し、その根拠資料を添付すること。

3 窒素酸化物の発生を抑制するため、あらかじめ空気と十分に混合し希薄な状態にした燃料を燃焼させる方式のガスタービン（専ら都市ガス又は液化天然ガスを燃焼させるものに限る。）以外の設備にあっては、これと同等以上の性能が明らかになるよう示すこと。

4-1 大気質に関して環境の保全のために発電設備において講じようとする措置

(講じようとする措置)

備考 窒素酸化物の発生を抑制するため、あらかじめ空気と十分に混合し希薄な状態にした燃料を燃焼させる方式のガスタービン（専ら都市ガス又は液化天然ガスを燃焼させるものに限る。）以外の設備にあっては、これと同等以上の性能が明らかになるよう示すこと。

排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿	り	
	乾	き	
排出ガス温度 (℃)			
排出ガス中の酸素濃度 (%)			
ばい煙の濃度及び排出量	窒素酸化物 (ppm)		(O ₂ = %)
	窒素酸化物 (Nm ³ /h)		(O ₂ = %)
	いおう酸化物 (ppm)		(O ₂ = %)
	いおう酸化物 (Nm ³ /h)		(O ₂ = %)
	ばいじん (g/Nm ³)		(O ₂ = %)
	ばいじん (mg/h)		(O ₂ = %)
排出口の実高さ H _o (m)及び頂上口径 D (m)	H _o		D
補正された排出口の高さ H _e (m)			
排出速度 (m/s)			

- 備考 1 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 2 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設（ばい煙の処理等を行う施設）がある場合は、処理後の濃度とすること。
 3 ばい煙処理施設がある場合は、その処理の方法及び処理前後のばい煙の濃度を明らかにするとともに処理フロー図等を添付すること。

4-2 その他の事項に関して環境の保全のために発電設備において講じようとする措置

(1) 排水に関する事項

(講じようとする措置)

復水器冷却設備	方 式	
	冷却(循環)水量(m ³ /h)	
	冷却水温度差	
	薬品注入の有無	有 ・ 無
その他機器冷却設備	方 式	
	冷却(循環)水量(m ³ /h)	
	冷却水温度差	
	薬品注入の有無	有 ・ 無

備考 薬品注入がある場合は、薬品の名称及び注入方法を明らかにすること。

排水の排出方法					
排水の処理方法					
排水の汚染状態	種類・項目	処 理 前		処 理 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
排水の量 (m ³ / 日)		通 常		最 大	

備考1 排水の排出方法には、排水口の位置及び数並びに排出先がわかる図面を添付すること。

- 2 排水処理施設がある場合は、その処理方法及び処理前後の汚染状態を記載するとともに処理フロー図等を添付すること。
- 3 排水口が複数ある場合は、それぞれの排水口ごとに記載すること。

(2) 騒音・振動に関する事項

(講じようとする措置)

備考 騒音又は振動の防止に関して講じようとする措置について記載し、必要な図等を添付すること。

	騒音又は振動の別	施設の種類	容 量	台 数	パワーレベル(dB)
主 要 な 騒音・振動 発生施設	騒音・振動				
	騒音・振動				
	騒音・振動				
	騒音・振動				
	騒音・振動				

備考1 施設の設置場所がわかる平面図を添付すること。

- 2 施設の概略図を添付すること。

5 発電設備の設置及び運転に関する環境の保全のために当該発電設備の敷地において講じようとする措置
(前述したものを除く。)

(講じようとする措置)

6 事後調査の方法

(1) エネルギーを利用する効率を高めるために発電設備において講じた措置に関するもの
(燃料使用量や発電量の把握方法を記載すること)

(2) 環境の保全のために発電設備において講じた措置に関するもの

	調 査 項 目	調 査 地 点	調 査 時 期 及 び 頻 度	調 査 方 法
大 気 質				
水 質				
騒 音 ・ 振 動				
そ の 他				

備考 調査地点がわかる図面を添付すること。